

日本一の足袋 生産地・行田！ 約300年 和装文化の足元を支え続ける 『足袋蔵のまち 行田』 文化庁・日本遺産認定 記念!! 地元の足袋を使ったクレーンゲームで、行田市応援と地域に貢献 【地元活性化キヤッチャー】登場!!

株式会社東洋(埼玉県北本市/代表取締役中村秀夫)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数がギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンターエブリディ行田店(埼玉県行田市、以下当店)」は、**地元である行田市が、今年【足袋蔵のまち 行田】として文化庁に日本遺産に認定されたことを記念し、地域活性化を後押しする為、行田市の老舗足袋メーカーの「足袋」が景品となった変わり種クレーンゲーム『地元活性化キヤッチャー』を10月20日(金)から稼働開始させました。**

文化庁・日本遺産 と 行田の代名詞「足袋」

日本遺産は、文化庁が、国内の市町村を対象に、我が国の文化・伝統・歴史的建造物などの文化財を個別ではなく、歴史的な経緯や、地域の風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財を、パッケージ化し、それらの活用を図る中で、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取組を支援するものです。(※文化庁HPより引用)

約300年前、**行田の足袋**は、武士の妻たちの内職で生産が始まり、名産品として広く知れ渡り、昭和初期の最盛期には全国の約8割の足袋を生産するまでに発展。今も日本一の足袋産地として、和装文化の足元を支え続ける街には、多くの足袋蔵等歴史的建築物が残り、趣きある景観を形づけており、今年、**【和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田】**として日本遺産に認定されました。



↑日本一の足袋生産の街 行田の足袋

クレーンゲームで埼玉県内の魅力発信と地域貢献

埼玉県に店舗があり、県内外や海外からもご来店頂く当店では、埼玉県の魅力をより多くの方に知ってもらいたいという想いで過去に、「鴻巣市にちなんだ川幅うどん」、「北本市にちなんだトマトカレー」、「さきたま古墳群(行田市)にちなんだはにわ」などを使った「**埼玉魅力発信クレーンゲーム**」を開催し、予想外の好評を頂いております。

今回はその第7弾となる、**大正11年創業の行田の老舗メーカーの足袋を用いた、地元・行田市を応援する【地域活性化】の一助にもなればと思い、【地元活性化キヤッチャー】と名付け、足袋にちなんで、アームの先端に付いた靴を上手く使って、景品をGETして頂く、面白キヤッチャーに仕上げました。行田市では、体育の時間に足袋を履いて授業をする学校もあったりと足袋には親しんでおりますので、足袋を履いたことのない方に、ぜひ、足袋をGETして頂き、履いて、足袋の魅力を知って頂ければと思います。**



↑地域活性化キヤッチャーのアームの先端には靴がついている。足技を上手く使って景品の足袋をGETする

【ご連絡・お問い合わせはこちちら】

会社名:株式会社東洋

担当者:緑川 裕一(みどりかわ ゆういち)

担当携帯:080-6858-9626

担当メール:midorikawa@everyday.co.jp

住所(本社):埼玉県北本市中丸9-211

最寄駅:JR高崎線 北本駅

電話番号:048-593-0999

FAX番号:048-593-0997

HP: <http://ufo-everyday.com/>



関連資料

ギネス認定! クレーンゲーム台数
世界一のゲームセンター

2017/10/27
株式会社東洋

EVERYDAY UFO CATCHER AMUSEMENT EVERDAY UFO CATCHER AMUSEMENT EVERDAY UFO CATCHER AMUSEMENT

【地元活性化キャッチャーと地域活性化について】

埼玉県行田市の**大正時代から続く、老舗足袋メーカーのソック**
スタイルの“こはぜ(着脱の際のフック)”が付いていない、日常生活でも履きやすい足袋を景品に使用。(右の写真①)

足袋のサイズは、①22~24cm、②24~26cm、③26~28cmと、3種類用意し、足の大きな男性でも、足の小さな女性でも誰が景品を獲っても、**獲ったあとに履いて頂ける様にサイズバリエーションに配慮**しました。

行田市は、水田をキャンバスとして、色彩の異なる複数の稻を植え、文字や図柄等を表現する『田んぼアート』で、2015年に「最大の田んぼアート」としてギネス世界記録に認定されました。その際に、同行田市内のギネス記録保持の当社の、「UFOキャッチャー=宇宙」にちなんだ**宇宙人のマスコットキャラクター**が、ドローンでお祝いにやってきた事から、今では市役所や、市の産業文化会館などに、宇宙人がいます。(右の写真②: 行田市産業文化会館のツイッターより)

現在、多くの方がお店に見えられる土日や祝日には、**行田市の魅力をアピールし、地元活性化させる為、行田店にも宇宙人が現れ、行田市のPRに奮闘**しております。(右の写真③: 当社の宇宙人参照) 宇宙人に遭遇するとキャンディがもらえることもあります。

【過去に展開した、埼玉県の魅力を発信する面白いクレーンゲーム】(↓当社公式HPより画像抜粋)

第一弾 北本トマトカレーキャッチャー

トマトの赤い唐揚げがいっぱい! ハーフのトマトみたいのがなぜ?トマト...?

これが北本の名物トマトをふんだん使って作られたトマトカレーの景品ですよ!

第9回埼玉県の「当社グリメ玉王」で初出店で優勝した。手軽か大人気で美味しい味のカレーだから、GEでした人はラッキーだったね。

第二弾 さつまいもキャッチャー

赤色の唐揚げものがいろいろ並んでるんですけど...これってせつまいも!?

ご当地名物キャッチャでふわふわ! 土鍋のさつまいもが有名です!

ぜひ地元に遊びに来たら、特で握つてもうまい景品(野菜)です!

第三弾 こうのす川幡うどんキャッチャー

「うどん...って書いてあるけど板うどんなのが入ってる! え? これは...?」

これはこうのす川幡うどんといつも地元で人気のうどん屋さんが日本でありますことにちなんで誕生した。ご当地グッズの発展!

第12回埼玉県の「当社グリメ玉王」で優勝した「こうのす川幡うどん」の模様は約8mもあるんだよ。

第四弾 墓輪キャッチャー

墓輪ってある歴史の教科書に載ってる土器! なんの見たことあるデザインの墓輪がハコばい!

エブリデイのあらゆる場所で、近くにさえた墓輪がたくさんあるんだよ! 行田のことをもっと知ってもらいたくて、お土産やおみやげついでですよ! 大きな人用に充電池...?

第五弾 うますぎる埼玉特産キャッチャー

「うますぎる!」

これでうますぎる! うますぎるのコマーシャルでお馴染みの埼玉鉱業、十石万円でんじゅうじゃない?

埼玉県の人はやはり埼玉の埼玉鉱業「十石万円じゅう」が景品のうますぎる埼玉特産キャッチャです。2月7日の「ホールデンバーグ」に、埼玉の特産品を紹介する企画で、埼玉県の魅力を知ってもらうことを目的とした企画で、埼玉の魅力を伝えるクレーンゲームシリーズの第5弾です!

第六弾 食べられる宝石キャッチャー

宝石って、食べるのじやなくして、身に着け物じやなくって、どういふことのかから?

この宝物は食べられるんです! 墓輪に宝石が乗っただけの宝物! うりどりで隕石や宝石! たぶん簡単な華やかな宝石で、普通に買える宝石よりももう少しで、2017年の年間売上高で1位を獲得した。行田店限定で開催した「食べられる宝石キャッチャー」が第6弾なんですよ! それがへられる宝石キャッチャーです。

UFO CATCHER AMUSEMENT EVERDAY UFO CATCHER AMUSEMENT EVERDAY UFO CATCHER AMUSEMENT EVERDAY UFO CATCHER AMUSEMENT

【ご連絡・お問い合わせはこちちら】

会社名: 株式会社東洋

担当者: 緑川 裕一(みどりかわ ゆういち)

担当携帯: 080-6858-9626

担当メール: midorikawa@everyday.co.jp

住所(本社): 埼玉県北本市中丸9-211

最寄駅: JR高崎線 北本駅

電話番号: 048-593-0999

FAX番号: 048-593-0997

HP: <http://ufo-everyday.com/>



↑写真① 景品のソックスタイプのストレッチ足袋
(画像の物は、24~26cmサイズの物)



↑写真② 産業文化会館のお土産売り場の様子
(行田市産業文化会館のツイッターより引用)



↑写真③ 行田店に現れた行田PRに奮闘する宇宙人
(10/22 日曜日の様子)